

2010 年度第 2 回阪神地区研究会 報告

平成 23 年 3 月 31 日作成

日時：2011 年 2 月 17 日（木） 13:00～16:45

会場：大阪女学院大学・短期大学 201 教室

テーマ：「初年次教育と図書館」

講演：「初年次教育における図書館との連携—関西国際大学「学習技術」の取り組み」

上村 和美（関西国際大学 人間科学部教授）

【内容概要】

高校を卒業し、呼称は生徒から学生へと変化したものの、学習スタイルは高校時代のままであるというケースも多い。関西国際大学では、入学した春学期に必修科目「学習技術」を開講し、大学生としての学びのスタイルを獲得させている。特に「学習技術」で使用するテキスト『知へのステップ—大学生からのスタディ・スキルズ』の中では、高校時代とは違う大学図書館の利用方法について述べている。本講演では、「学習技術」の授業の中でどのように図書館との連携を図っているのかについて、具体例を交えながら紹介された。

事例発表：「情報リテラシー教育が抱える課題：初年次教育における図書館の役割」

川崎 千加（大阪女学院大学 講師）

【内容概要】

大阪女学院における情報リテラシー科目は主として、情報検索と情報の整理、批判的読みとこれらを使った論文スタイルを獲得することを目的に実施されてきた。しかし、近年の学生像の変化は、そこに至るまでの「読み」「書く」力の養成を大学の初年次教育に求めるようになってきている。この問題に真正面から取り組んだのが本学における「自己形成スキル」である。読み、書く力はキャリア形成の基盤であり、ここではライフ・ラーニングを支える図書館の役割が再認識される。

海外認定研修報告：「中国の図書館を巡って」

今村 太朗（関西学院大学図書館 運営課長）

【内容概要】

2010 年度に新しく設けられた海外認定研修に採択された、関西学院大学図書館の今村氏より、2010 年 8 月に中国の図書館を視察された時の報告があった。大学図書館ではアジア最大規模の北京大学図書館と、広大なキャンパスを誇る清華大学の図書館を中心に、中国の図書館事情について豊富な写真とともに学ぶことができた。

参加校：58 校

参加人数：86 名

以上